

- 問1 渋谷駅周辺の地形的な特徴を説明した文として、適切なものはどれですか。なお、渋谷駅前の地点の標高を15m、そこから渋谷川沿いに南下し、南西方向に進んだ代官山駅東側の高台にある地点を29mとします。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
1. 渋谷川沿いの高台から、南西方向にある代官山駅付近の低地へと向かうため、ルートの途中で下り坂になる。
2. 渋谷川が流れる低地から、南西方向にある代官山駅付近の台地へと向かうため、ルートの途中で上り坂になる。
3. 渋谷川を越えて北東方向にある恵比寿駅方面へと進むと、最も標高の高い地点に到達する。
4. 渋谷駅前から代官山駅付近までは、渋谷川の堆積作用によって形成された広大な平坦地が続いている。
- 問2 関東平野の台地に広がる関東ロームの層において、古くから稲作よりも野菜などの畑作が盛んに行われてきた理由として、土壌の性質の観点から最も適切な説明はどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 海岸近くの砂地が隆起した土壌で、塩分を多く含んでいるため稲の生育が妨げられる。
2. 河川が運んだ泥でできた粘土質の土壌で、水持ちが良すぎて稲の根が腐りやすい。
3. 火山灰が堆積してできた土壌で、水はけが非常によいため、水田に必要な水を溜めにくい。
4. 有機物を多く含んだ黒い土壌で、地力が強すぎて稲の茎ばかりが成長してしまう。
- 問3 関東地方の各都県における大学数の分布を、1つの正方形の記号を10校として地図上に配置する統計地図で表現するとします。群馬県の大学数が14校、茨城県の大学数が10校であるとき、この地図上で用いられる正方形の数や表現の説明として適切なものを選びなさい。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 群馬県は正方形14個分、茨城県は正方形10個分として表現される。
2. 群馬県は正方形4個分、茨城県は正方形0個分として表現される。
3. 群馬県は正方形1.4個分、茨城県は正方形1個分として表現される。
4. 群馬県は正方形1.4個分、茨城県は正方形0.1個分として表現される。
- 問4 千葉県は、京葉工業地域を中心とした製造業が盛んな一方で、農業も非常に活発です。特に野菜の産出額が全国的に高い水準にあります。このように大消費地である都市の周辺で行われる、新鮮さが求められる野菜などを生産する農業の形態を何と呼びますか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. 促成栽培
2. 抑制栽培
3. 適地適作
4. 近郊農業
- 問5 東京都の南に位置する横浜市は、江戸時代末の開港をきっかけに急速に発展しました。この都市の歴史的な背景と現在の状況について説明した文として、適切なものを選びなさい。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 日米修好通商条約などにより開港した歴史を持ち、現在は都心部の混雑緩和や港湾機能の更新のため、臨海部の再開発が進められている。
2. 江戸時代末の開港により外国人の居留地が作られたが、現在は工業専用地域としての役割を強めており、商業施設の建設は行われていない。
3. 室町時代から国際貿易港として栄えていたが、現在は人口減少が深刻な課題となっており、都心機能の一部を近隣の県へ移転させている。
4. 明治時代に初めて開港された新しい都市であり、現在は東京都に代わる日本の首都機能を担うため、大規模な官庁街が整備されている。
- 問6 関東平野の台地に広く分布している、かつての火山活動によって放出された火山灰が偏西風で運ばれ、長い年月をかけて堆積した赤土の地層を何と呼びますか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 関東ローム層
2. マサ土
3. 沖積層
4. シラス
- 問7 東京23区の人口動態について、神奈川県、埼玉県、千葉県などの周辺県から多くの人々が通勤・通学のために移動する状況を踏まえ、昼間人口と夜間人口の関係を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. 練馬区や江戸川区といった住宅地が多い周辺の区では、都心部へ向かう人々よりも都心部から来る人々の方が多いため、昼間人口が夜間人口を上回る。
2. 近年の都心部への住み替えが進んだ結果、千代田区などの都心部では居住者数が急増し、夜間人口が昼間人口を上回る逆転現象が起きている。
3. オフィスや官公庁が集中する千代田区や中央区では、周辺地域から流入する人々によって昼間人口が夜間人口を大きく上回る。
4. 東京23区は日本の中心地であるため、すべての区において周辺県から流入する人々が居住者を上回り、昼間人口の方が多くなっている。
- 問8 東京都中央卸売市場において、キャベツの出荷量のうち関東地方の県が占める割合が40パーセントに達している背景には、どのような農業の特色がありますか。最も適切な説明を選んでください。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 暖かい気候を利用して、他の地域よりも出荷時期を早める促成栽培が大規模に行われているため。
2. 大消費地である東京に近い利点を生かし、鮮度の高い野菜を供給する近郊農業が盛んであるため。
3. 標高の高い地域の涼しい気候を利用して、夏でもキャベツを栽培できる高冷地農業が発達しているため。
4. 広大な土地を活用し、機械化を進めることで、九州地方などの遠隔地から大量に輸送する体制が整っているため。
- 問9 千葉県に位置するこの半島では、江戸時代に九十九里浜などでいわし漁が盛んに行われた。漁獲されたいわしを干して肥料に加工し、各地の綿花栽培などに利用されたが、この半島はどれか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
1. 房総半島
2. 能登半島
3. 渥美半島
4. 紀伊半島
- 問10 関東地方の各都県の統計において、人口密度が全国でも有数の高さである一方、夜間の常住人口に対する昼間の人口の割合を示す「昼夜間人口比率」が100%を大きく下回る県があります。このような統計上の特徴を持つ埼玉県の地域は、都心へ通勤・通学する人々の住宅地としての役割が強いことから、一般に何と呼ばれますか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. 工業地域
2. ニュータウン
3. ベッドタウン
4. 政令指定都市
- 問11 2015年の野菜産出額の統計において、1位の北海道に続き、2位に茨城県、3位に千葉県、7位に埼玉県、9位に栃木県と、関東地方の各県が上位に多くランクインしています。このように、大都市の周辺で行われ、消費地に近い利点を生かした農業を何といいますか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. 促成栽培
2. 近郊農業
3. 施設園芸農業
4. 高冷地農業
- 問12 関東平野の台地部分を広く覆っている、富士山や箱根山などの火山活動によって噴出した物質が長い年月をかけて堆積してできた赤土の層を何といいますか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
1. 泥炭地
2. 関東ローム層
3. マサ土
4. シラス台地
- 問13 群馬県沼田市や茨城県坂東市といった地域は、高速道路網を利用して東京都の大田市場などの大消費地へ農産物を出荷する農業が盛んです。これらの地域を流域に含み、灌漑用水として関東平野の農業を支えている、日本最大の流域面積を誇る河川はどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
1. 荒川
2. 利根川
3. 多摩川
4. 木曽川